

## 2019年11月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年10月10日

上場会社名 株式会社ティムコ  
 コード番号 7501 URL <https://www.tiemco.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 2019年10月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年11月期第3四半期の業績(2018年12月1日～2019年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年11月期第3四半期	2,162	4.0	4		0		16	
2018年11月期第3四半期	2,253	4.9	38		43		26	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年11月期第3四半期	6.79	
2018年11月期第3四半期	10.76	

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年11月期第3四半期	5,571	4,769	85.6	1,925.79
2018年11月期	5,890	4,819	81.8	1,945.88

(参考)自己資本 2019年11月期第3四半期 4,769百万円 2018年11月期 4,819百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年11月期		0.00		12.00	12.00
2019年11月期		0.00			
2019年11月期(予想)				12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年11月期の業績予想(2018年12月1日～2019年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,117	4.0	50	15.2	53	5.0	35	12.3	14.13

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年11月期3Q	3,339,995 株	2018年11月期	3,339,995 株
期末自己株式数	2019年11月期3Q	863,445 株	2018年11月期	863,445 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年11月期3Q	2,476,550 株	2018年11月期3Q	2,476,551 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、[添付資料]P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年11月期第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(自2018年12月1日 至2019年8月31日)における日本経済は、米中間の貿易摩擦の激化などの海外環境やIT関連需要の減速による影響が中小企業にも波及したことで、製造業を中心として景況感を下押しする形となりました。個人消費は、大型連休の特需などが消費の押し上げ要因となった一方で、消費税増税前の駆け込み需要の鈍さも見られ、日用品や衣料品などの販売は盛り上がりには欠けました。

当社の関連するアウトドア関連産業においては、釣用品市場、アウトドア衣料品市場とも、全般に消費の力強さを欠く展開となりました。

このような状況の中、当社では収益増加に向けた取り組みを行ってまいりましたが、折からの消費の停滞や天候不順の影響を受け、当期の売上高は21億62百万円(前年同期比4.0%減)となりました。また、売上総利益の減少に連動して、営業損失は4百万円(前年同期間 営業利益38百万円)、経常損失は23百万円(前年同期間 経常利益43百万円)、四半期純損失は16百万円(前年同期間 四半期純利益26百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

## (フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、暖冬傾向が釣行にプラスに作用するスタートとなりましたが、ロッド(釣竿)やリールなどの高額品を中心とした消費が伸び悩んだほか、8月中旬に発生した台風等に代表される天候不順の影響等も加わり販売は苦戦をいたしました。

まず、ルアー用品に関しては、ルアー(擬似餌)の販売は堅調に推移したものの、ロッド(釣竿)等の高単価商品の販売が進まず売上高は低迷いたしました。また、フライ用品に関しては、シーズンに先行して早期実施した新製品投入や動画配信等のプロモーション効果により、売上高は堅調な立ち上がりを示しましたが、3月以降は河川の渇水や大雨などの影響等もあり、販売が低調に推移いたしました。

その結果、当期におけるフィッシング事業の売上高は、6億81百万円(前年同期比6.9%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は87百万円(前年同期比20.2%減)となりました。

## (アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、前期の記録的な気温低下に比べて、当期は暖冬傾向となった反動も加わり、ジャケット等の防寒重衣料の販売が前期に比べ低調に推移いたしました。また、春夏物に関しては、インターネットを活用したプロモーションにも注力いたしました。また、春季における気温低下等の影響やお盆休み中の天候不順も加わり、全般に衣料品の消費が停滞いたしました。

その結果、当期におけるアウトドア事業の売上高は14億59百万円(前年同期比2.4%減)となりました。また、販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、セグメント利益(営業利益)は80百万円(前年同期比18.3%減)となりました。

## (その他)

その他の主な内容は、不動産賃貸収入売上であります。当期に関しては、その他売上高は21百万円(前年同期比12.6%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は15百万円(前年同期比17.5%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

## (資産)

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ3億18百万円減少し55億71百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少4億53百万円や受取手形及び売掛金の減少26百万円などの一方、商品の増加87百万円などの影響により、前事業年度末に比べ3億92百万円減少し、38億18百万円となりました。

固定資産は、有形及び無形固定資産等の減価償却等による減少29百万円などの一方で、投資有価証券の取得による増加1億円などの影響により、前事業年度末に比べ73百万円増加し、17億53百万円となりました。

## (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ2億69百万円減少し8億2百万円となりました。

流動負債は支払手形及び買掛金の減少2億22百万円や返品調整引当金の減少19百万円、未払法人税等の減少17百万円などの影響により、前事業年度末に比べ2億79百万円減少し、5億62百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加7百万円や長期資産除去債務の増加3百万円などの影響により、前事業年度末に比べ10百万円増加し2億40百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ49百万円減少し、47億69百万円となりました。これは主に、前事業年度決算の配当支出29百万円や四半期純損失16百万円、その他有価証券評価差額金の減少3百万円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年1月18日発表の「平成30年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年11月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,219,411	1,766,320
受取手形及び売掛金	556,029	529,696
商品	1,394,642	1,482,365
その他	43,307	42,107
貸倒引当金	△2,148	△1,939
流動資産合計	4,211,241	3,818,550
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	560,371	542,399
土地	653,376	653,376
その他(純額)	16,227	13,955
有形固定資産合計	1,229,975	1,209,731
無形固定資産	21,540	12,596
投資その他の資産	427,851	530,879
固定資産合計	1,679,367	1,753,208
資産合計	5,890,609	5,571,758
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	645,461	422,633
未払法人税等	27,610	10,510
返品調整引当金	32,533	12,971
賞与引当金	1,655	11,501
その他	134,322	104,497
流動負債合計	841,583	562,114
固定負債		
退職給付引当金	144,963	152,414
その他	84,986	87,924
固定負債合計	229,949	240,339
負債合計	1,071,533	802,454
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	341,087	294,560
自己株式	△478,034	△478,034
株主資本合計	4,804,500	4,757,972
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,575	11,331
評価・換算差額等合計	14,575	11,331
純資産合計	4,819,075	4,769,304
負債純資産合計	5,890,609	5,571,758

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年12月1日 至2018年8月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年12月1日 至2019年8月31日)
売上高	2,253,182	2,162,840
売上原価	1,223,463	1,182,875
売上総利益	1,029,719	979,965
返品調整引当金戻入額	27,576	32,533
返品調整引当金繰入額	13,404	12,971
差引売上総利益	1,043,890	999,528
販売費及び一般管理費	1,005,739	1,004,433
営業利益又は営業損失(△)	38,151	△4,905
営業外収益		
受取利息	987	1,260
受取配当金	972	1,093
為替差益	2,452	1,691
その他	685	636
営業外収益合計	5,097	4,681
営業外費用		
その他	69	6
営業外費用合計	69	6
経常利益又は経常損失(△)	43,179	△230
特別利益		
固定資産売却益	18	-
特別利益合計	18	-
特別損失		
固定資産除却損	280	0
特別損失合計	280	0
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	42,916	△230
法人税、住民税及び事業税	15,679	11,459
過年度法人税等	-	2,741
法人税等調整額	582	2,377
法人税等合計	16,261	16,578
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,655	△16,808

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第3四半期累計期間(自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	732,525	1,496,486	2,229,012	24,170	—	2,253,182
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	732,525	1,496,486	2,229,012	24,170	—	2,253,182
セグメント利益	110,166	99,110	209,277	18,262	△189,388	38,151

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。  
 2 セグメント利益の調整額△189,388千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。  
 3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## II 当第3四半期累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	調整額 (注)2	合計 (注)3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	681,851	1,459,853	2,141,705	21,135	—	2,162,840
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	681,851	1,459,853	2,141,705	21,135	—	2,162,840
セグメント利益又は損失(△)	87,953	80,959	168,912	15,065	△188,883	△4,905

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。  
 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△188,883千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。  
 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。